

令和7年度実績(日本電気株式会社(NEC))

No.	連携項目	連携事業名	実施時期	連携・協力内容
1	(5)その他、地域の活性化等に関すること	「ふくしま追悼復興祈念行事」の周知	令和8年3月24日まで	ふくしま追悼復興祈念行事のポスター・チラシ掲出による周知協力。
2	(5)その他、地域の活性化等に関すること	①パラレルキャリア人材共創促進事業 ②福島県・NECプロボノ活動報告会	①通年 ②令和8年2月24日	「NECプロボノイニシアティブ」の活動として、NEC社員がプロボノで県内の課題解決に資する活動を実施。 2025年度の福島県におけるNECグループのプロボノ活動の成果や進捗を報告。 活動報告① fureru(フレル)プロジェクト fureruの認知度向上に向けたイベント企画・運営、Webコンテンツ制作など ゲスト：株式会社Shift 発表：NECプロボノ倶楽部 3.活動報告② やまあみ鞆製作所 プロジェクトの進捗報告 現在進行しているやまあみ鞆製作所のブランド戦略やプロモーション支援について ゲスト：やまあみ鞆製作所 発表：NECプロボノ倶楽部
3	(4)ワーケーションの推進に関すること	企業版ふくしまぐらし。体験事業	令和7年9月2日～6日 令和7年9月11日～14日 令和7年11月19日～23日	県内でテレワークをして、地域のキーパーソンとの交流、復興スタディ等を行う地域交流型ワーケーションを実施。
4	(5)その他、地域の活性化等に関すること	オンライン対話セッション	令和8年2月19日	福島県の職員、MYSH株式会社、NECグループ社員が登壇するオンライン対話セッションを実施。全国から社員等約160名が参加。 ・福島県職員による、「福島の実状と今後の展望について」の講話 ・福島県のスタートアップによる、「まちの賑わいを創る挑戦」の紹介 ・NECプロボノ倶楽部の福島県プロジェクトリーダーによる、「プロボノを通じた福島応援」の紹介
5	(5)その他、地域の活性化等に関すること	福島県の関係人口創出に向けた社員の参加登録促進	令和8年2月19日～3月13日	福島県の関係人口創出を目的に、社員に対し県主催「ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま」広報隊、「ふくしまファンクラブ」、「ふくしままっぷ友の会」への参加登録を促進。
6	(1)デジタル変革(DX)の推進に関すること	DX推進をテーマとした若手交流会の実施	令和8年2月26日	福島県、NEC、株式会社福島県中央計算センターの三者で、DX推進をテーマとした若手職員・社員による交流会を実施。計30名が参加。

7	(2) 県産品の振興及び 風評払拭・風化防止に 関すること	福島県産品の振興	令和8年2月19日～3月13日	福島県産食材を活用したランチの提供および県産品の販売を実施。初日の2月19日には、NEC本社ビルにおいて福島県職員と社員食堂・売店での呼び込みを行うとともに、社員食堂内で「3.11東日本大震災追悼映像」を紹介し、本取り組みへの参加を呼びかけ。 ・社員食堂提供数：約6,600食 ・社内売店販売数：約2,200点 ・オンライン販売数：約870点
8	(3) 次世代育成の支援に 関すること	次世代育成の支援	令和7年9月～11月	NEC Future Creationプログラム(探究学習プログラム)を、福島県立相馬高等学校(理数科1年生35名)で実施。